



高浜市食育協力隊

カワラッキーフレンズの 取り組み紹介

食育の啓発や実践活動に協力していただける団体や事業者を高浜市食育協力隊カワラッキーフレンズ(登録制)といいます。

今回紹介するのは、「いちごプラザ」です。

いちごプラザは、3歳未満の親子が遊べる施設です。毎月19日の「食育の日」には、野菜の絵本を読んだり、エプロンシアターをしたりと、食に関心を持ってもらえるような企画を行っています。ブログ(<http://ichigoplaza.sblo.jp/>)でも活動を紹介しています。

この記事の内容に関する問合せ先

高浜市いちごプラザ ☎52-5232



市では、カワラッキーフレンズを募集しています。詳細は問い合わせください。今後も、カワラッキーフレンズの取り組みを紹介していきます。

臨時職員 募集

子どもの好きな方、家庭的保育で働きませんか。

家庭的保育は0~2歳児のお子さんを対象に、定員5人の少人数を預かり、家庭的な雰囲気の中で保育する施設です。

保育士資格の有無は問いませんが、勤務しながら保育の研修を受けていただけます。

受付・問合せ先 園こども育成グループ ☎52-1111(内線315)

| 募集内容 | 勤務先・勤務時間 | 年齢 | 勤務日 | 受付期限 |
|-----------------|---|--------|----------|------|
| 家庭的保育スタッフ 2人 | ・市内家庭的保育施設 ・週2~3日(月~土) ・1日5時間勤務(午前・午後交代制) | 20~60歳 | 4月1日(月)~ | 随時 |

第3回こども食育発表会が開催されました

2月12日、JA高浜支店で行われた「第3回こども食育発表会」の内容を紹介します。

食育事例発表

◆高取幼稚園

「つくる」をテーマに大豆を栽培し、枝豆収穫や炒り豆にしての豆まき、きな粉作りと、子どもたちには多くの発見・驚きがあり、「つくる」ことを五感で楽しみました。

◆吉浜小学校

給食を「生きた教材」として食育指導を行い、給食放送に力を入れ、食育集会では児童の考えた食育クイズを行いました。これからも学校・家庭・地域で協力しあいながら、笑顔あふれる給食・食育を進めていきます。

◆翼小土曜クラブ家庭科クラブ(カワラッキー賞2012[一般部門]キングカワラッキー賞受賞)

翼小学校の判断・実践する能力を育む授業方法を受け、自分のものは自分で作って食べる活動を行いました。活動を通して子どもたちは興味や自信を持ち、他者への気配りや判断力などが身につけてきました。



◆吉浜北部保育園

吉浜まちづくり協議会の大きな力を借りて、園児と野菜栽培を行っています。園児が野菜を身近に感じるようになり、家族のコミュニケーション食育とはヨンが増加しました。



意見交換会

みんなに聞いてみよう“食育って何だと思う?”

「食育とは体験。失敗・成功の中で作りあがっていくのではないか。人との関わりが大きなキーポイントとなると思う。」

「食育とは成長を助長する手段。答えは一つでなく沢山あるので、周りの人が何を選ぶかということ。」

「小学校の同窓会で最初に話題になったのは給食。子どもにとって食べ物に関することは非常に印象に残る。ぜひ、近所の方とパーティなどをして大人数で食事をしてほしい。」など、パネラーが「食育とは何か」を熱く語り、最後に、コーディネーターの酒井教授(愛知学院大学)が「食育とは何か、というのは、自分なりに食事を通してどう行動していくかということ。一人ひとりが取り組める身近な行為ですが、連携することでより活動しやすくなります。」と締めくくりました。

参加者からは、「子どもたちが素晴らしい成長をしてくれる。大変真剣に取り組んでいる姿を知り、嬉しく思った。」などの感想が聞かれました。